

2022横浜シーサイドトライアスロン大会 大会概要

1 大会概要

「2022横浜シーサイドトライアスロン大会」は、3年ぶりに開催する運びとなりました。

3年間、新型コロナウイルスの影響により、大会への参加が制限される中、トライアスリートの皆様から「スイムやバイクに不安があるため大会出場を躊躇している」など、多くの声をいただきました。本大会は、その不安を払拭し、「トライアスロンを楽しみたい」「トライアスロンっていいな」と感じられるよう、トライアスロンデビューからスプリント完走まで、参加者が安全・安心に楽しめる環境を整えてまいります。

スプリントカテゴリーでは、スイムに自信のない方でも安心して参加できるよう、スイムの距離を選択できるオリジナルカテゴリー（スプリントS500,スプリントS250）を設置、また十分に練習を積むことができない方を対象とした関連セミナーの開催をするなど、参加する全てのアスリートがそれぞれ最高のパフォーマンスを発揮し、笑顔でフィニッシュできる大会運営に取り組みます。厳しい時から脱出し、スポーツを通じ、勝敗をこえた感動・勇気を呼び起こしていけるよう本大会を開催してまいります。

項目	内容
開催日	2022年9月25日（日）
開催場所	横浜・八景島シーパラダイス、金沢工業団地周辺
主催	横浜シーサイドトライアスロン大会実行委員会 【構成団体】 日本トライアスロン連合、横浜市スポーツ協会、横浜市市民局、横浜市トライアスロン協会、神奈川県トライアスロン連合、日刊スポーツ新聞社、横浜市金沢区、横浜金沢産業連絡協議会、横浜八景島、横浜シーサイドライン、金沢区町内会連合会、横浜金沢観光協会、横浜市緑の協会、横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜港振興協会、横浜観光コンベンション・ビューロー
主管	神奈川県トライアスロン連合、横浜市トライアスロン協会
後援 (予定)	観光庁、神奈川新聞社、NHK横浜放送局、t v k、F Mヨコハマ、ラジオ日本
協賛 (予定)	イオンリテール株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、株式会社ファンケル、エバラ食品工業株式会社、株式会社東洋信号通信社、横浜・八景島シーパラダイス、公益財団法人横浜市緑の協会、TYR、スポーツクラブNAS株式会社、横浜ベイサイドマリーナ株式会社、カリフォルニア・レーズン協会、株式会社フォトクリエイト、株式会社ジエブ、株式会社セレスポ、警備業横浜協同組合、有限会社スポーツアシスト、小久保製氷冷蔵株式会社、株式会社横浜レンタル
公認	日本トライアスロン連合
助成	横浜子どもスポーツ基金

2 大会スケジュール

9月25日（日）

パラトライアスロン 9:40 -
トライアスロン 10:00 -
アクアスロン 12:40 -

交通規制時間

9:30 - 14:00

当日受付/健康相談 7:20 -

競技スタート 9:40 -



3 競技カテゴリー及び参加料(環境協力金1人50円含む)

カテゴリー		定員	参加料	距離
トライアスロン	スプリント	580名	18,050円	25.75km スイム：0.25km×3周回 ※周回時の陸上エリアを含む バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
	スプリント S500		16,050円	25.5km スイム：0.25km×2周回 ※周回時の陸上エリアを含む バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
	スプリント S250			25.25km スイム：0.25km×1周回 バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
	パラトライアスロン	10名	18,050円	25.75km スイム：0.25km×3周回 バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
	リレー	50組(150名)	24,150円	25.75km スイム：0.25km×3周回 ※周回時の陸上エリアを含む バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
アクアスロン	アクアスロン一般	60名	8,050円	5.5km スイム：0.25km×2周回 ラン：2.5km×2周回
	パラアクアスロン			ラン：2.5km×2周回
	ペアチャレンジの部A スイム：高校生以上 ラン：小学校低学年	20組(40名)	5,100円	1.35km スイム：0.25km×1周回 ラン：1.1km×1周回
	ペアチャレンジの部B スイム：高校生以上 ラン：小学校高学年・中学生			2.25km スイム：0.25km×1周回 ラン：1.0km×2周回
合計		840名	720名(人数・組)	

※JTU登録はスプリント、パラトライアスロンのカテゴリーで必須としていますが、その他のカテゴリーは会員登録を推奨します。

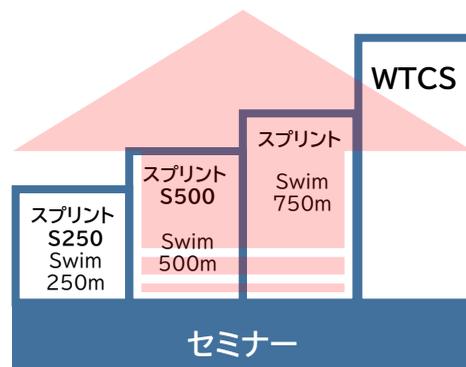


4 大会コンセプト

フィニッシュの喜びを分かち合う

「横浜シーサイドトライアスロン大会」は、誰もが参加できる都市型トライアスロン大会として、国内唯一のアーミューズメントパークをメイン会場としたトライアスロン大会です。

スポーツをする日常が戻りつつあることを楽しみながら、勝ち負けだけでなく、達成感のあるフィニッシュを仲間と称え合い、自らのレベルに応じて高みを目指すことができる大会として、開催いたします。



5 大会関連スケジュール

スケジュール	内 容
7月7日（木）	書面表決
7月8日（金）	大会概要発表／エントリー情報ホームページ公開／エントリー情報SNS発信
7月11日（月）	エントリー募集開始
8月11日（木・祝）	エントリー募集締切
8月24日（水）	エントリー当落発表
8月24日（水）～ 8月30日（火）	エントリー入金期間
9月18日（日）～ 9月24日（土）	健康チェック・行動管理
9月25日（日）	大会当日 ※健康チェック・健康相談あり

6 大会開催可否判断

- (1) 神奈川県に緊急事態宣言が発出されている場合は、大会の開催を中止とします。
- (2) 上記に加え、参加者や運営スタッフの確保、施設の利用可否、安全対策の実効性、医療を含めた運営スタッフが確保できるかなど、総合的に勘案し大会の開催可否を判断していきます。

7 参加料等の取り扱い

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、大会が中止となった場合は、中止時点までの執行経費等を差し引いた金額を返金いたします。
- (2) 本人都合によるキャンセルや、地震・風水害・事件・事故・疫病等により大会が中止となった場合は、同意書に基づき参加料は返金いたしません。
- (3) エントリー手数料は、いずれの場合においても返金いたしません。

8 安全・安心に参加できる大会運営

(1) 参加者レベルに応じたスイム距離選択制の導入

トライアスロンデビューの方やスイムに不安のある方が安心して参加していただけるよう、スイム距離が選択できるカテゴリ（スプリント・スプリントS500・スプリントS250）を設けます。

ご自身の状況に応じて、距離カテゴリを選択し、レベルアップを目指すことができます。

(2) 大会前の座学講座やセミナーの充実

トライアスロンデビューや海で開催される大会の出場経験の少ない参加者に対して、競技の特性や、本大会を理解し、安心してレースに出場できるように座学講座や、ウェットスーツを着用し、実際の海で泳ぐセミナーを開催します。

(3) スイム競技を楽しむために（ウォームアップ・試泳・アイスブレイク）

競技開始前に一定程度心拍数を上げ、身体を温め、ほぐすようなウォーミングアップを実施するほか、スイム会場での試泳を実施します。また、試泳後の競技開始の直前には、緊張をほぐしてレースに臨むためのグループごとのアイスブレイクタイムを設けます。

(4) コロナ感染症対策

ア 健康・行動管理の実施及び新型コロナウイルスワクチン3回接種の推奨

大会7日前からの参加者、大会関係者への健康・行動チェックを実施するとともに、大会当日は、検温及び健康チェックを行います。また参加者・関係者には、新型コロナウイルスワクチンの3回接種を推奨します。

※ PCR検査等の陰性証明は求めません。

イ 基本的な感染症予防対策の徹底

大会参加にあたっては、ソーシャルディスタンスの確保、競技中以外はマスクの着用、会場内での手指消毒を励行します。



9 主な取り組み

(1) 完走メダルの贈呈

「完走した人全員が勝者」の理念に基づき、フィニッシュを称える大会オリジナル完走メダルを贈呈します。



(2) WTCS大会との連携

スプリントの部年代別上位入賞者に2023ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会への優先出走権をプレゼントします。

(3) ゲストアスリートの招待

大会ゲストとして、オリンピックに出場された元トライアスロン日本代表選手をお招きし、スタート前の選手へのアドバイスや一緒に競技に参加するなど、全選手が笑顔でフィニッシュできるようにサポートします。



(4) インクルーシブスポーツの推進



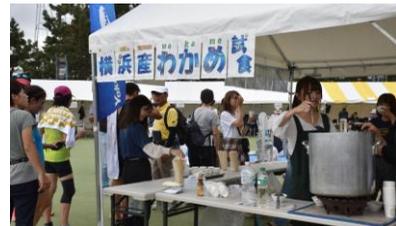
パラトライアスロン・パラアクアスロンの競技カテゴリーを設けます。また、小学生を対象としたペアチャレンジの部を設け、障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」と連携した取り組みを行います。



(5) 道志村の間伐材を活用



完走メダルに横浜市の水源地である山梨県道志村の間伐材を活用します。加工には、横浜市中区にある障害者の就労支援施設「さらい工房」にご協力いただきます。



(6) 参加者に向けた横浜産わかめを使用した料理の配布



大会の横浜ブルーカーボン事業への取り組みの一環として、また参加者へのおもてなしとして、横浜市金沢区で採れたわかめを使用した料理の配布を行います。



(7) 横浜ブルーカーボン事業への取り組み（環境協力金）



エントリー時に環境協力金（50円）のご協力をいただき、選手たちが八景島の会場までの移動により生じたCO2の排出量をオフセット（埋め合わせ）するとともに、競技フィールドである横浜の海の環境改善を支援します。

10 メディア・広報

スケジュール	媒体
7月8日（金）	大会開催決定・参加者募集開始 記者発表
7月11日（月）	ポスター掲出、チラシ配架開始（関係各所）
7月下旬	交通規制チラシ配布開始
9月1日（木）	広報よこはま（金沢区版）

2022大会コース







